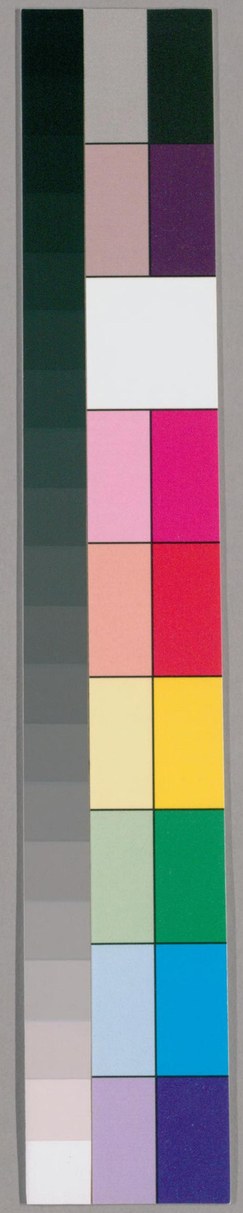
848
81

旗縫口傳記

一名陳設之書

河鶚京春



国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81

ガラス使用

旗縫口傳記

二名御藏之書

848
81

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81

ガラス使用

今井俊吉郎氏寄贈本

龍谷図書館

旗縫口傳

一月八正五九月本式但急乃事ハ余の月共重ニ云ふ
ニ而も可用日ハ廿日本式或ハ末日ニ而も可用時有ニ
令哉可用戌巳庚辛ニ而も可ニ而急ニ而乃日ニ而も用ニ而ハ
摩利支天乃深日成ニ
一朝日出ル時ニ而ま戸乃間ニ而ま東ニ可向若其日東方
ニ悪神あ〳〵ハ王相方ニ可向或ハ王女方ニ可向
一其日ニ精進三七日或ハ一七日毎日行水可有し然乃ち
清浄なれハ乃水ニ而可用七文字ニ用ル事ハ
高三乃ふんまつ七分ニまて世ニ而も大ニ故ニ云ニ
かゝる事ニ而ハ無之
一讃文ニ而も世ニ而も附用ニ而ある〳〵き物乃事

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81

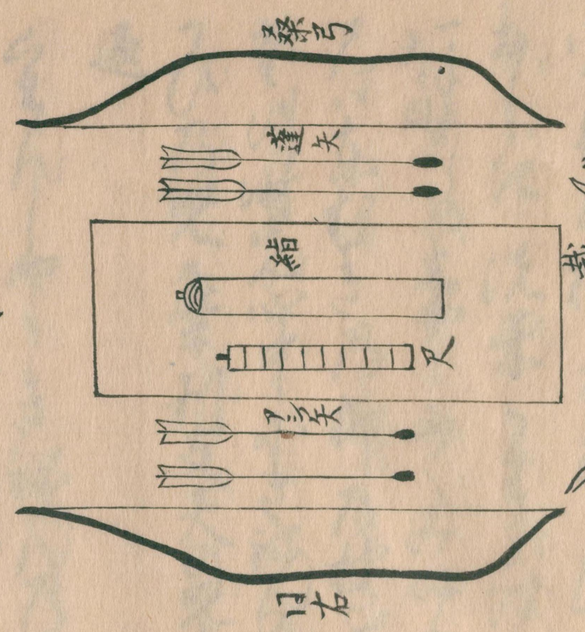
ガラス使用

延喜注連（七ヲ二）たち板一枚（柳ノ尺）
刀二（弐き）計（同）幣白
一ちうの乃板 おあまひ（柳ノ尺）
おゝ紀 洗米（うるゝけ）（弓二法）
一（矢七ヲ同）の志ゝ（ゝ）ゝくみ（ゝ）
一尺八寸むき乃柳乃枝を（ゝ）ゝく（ゝ）金乃尺（ゝ）ゝ（ゝ）て更
一辻川時先心中むき神への次第心経七巻志ゝ（ゝ）の呪ゝ（ゝ）
うひ乃呪 摩利支天の呪大小勝金剛呪九字文已上共一
返

一ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）ゝき神乃神
住吉（柳ノ尺）八幡大井 甚ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）ゝく民神
一禮を志ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）馬帽子ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）志を着

しあひて一人同板の出ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）ゝ（ゝ）
一を注しき産乃事

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81
ガラス使用



回

諸兵

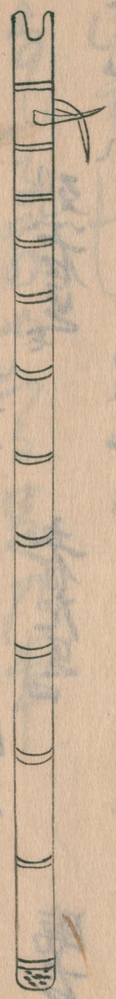
一刀をとり金剛劔を用ひまきうたちこと者ありてこうん或云
ある〳〵
一こんかうけんとはきまき人のゆこをにきること大
ゆひさきうゆひのあたりいはめをまるこんとの方〳〵
むくとはわうをくゆうぬくむひ事ちまる
一寄引
一旗ぬい調次第先坪きまき事ぬくぬふ
ぬう面をはかり里ぬいそんたふかす
そやまく〳〵又ぬくそてさはぬいそんあまくぬいそんりをともる

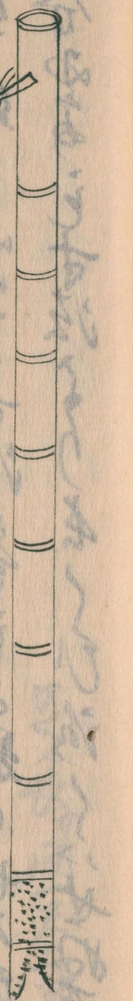
一ぬい調へまつるこのやいとを書かぎすること一七ヶ日或ハ二日真沙汰ある〳〵ハ其家〳〵乃文書能キ
かかちある〳〵
一手疵ある病人或ハ時しもりんてんとく天王
天下ゆいがそくそくんを援護を蒙ぶり
之時手疵ざきなつ時同志者文を以ておな
ぢ疵さしこまつるたいよ之 沙事
一真日玉女乃方むけまつる事
一ろんだいやむ病式ごとをもち九字乃文言
やはをる〳〵
一そもふるおめる号乃事

一治ゑいあ〳〵いまつる者をむけまつる事
まつたちぬ〳〵だ〳〵やしやうじん云沙汰のやう
必風邪なつきこまつるときハ
一七日のだらんやうまくのおと〳〵
一たまつるとる病人靈所乃竹の大サほうさく
えさまつる病人すゑもつれさる竹乃出ときすゆ
しあいのひたる竹地之方ゑ七日或ハ二日ぬ
そる真日乃生〳〵の方へまつるゆすまくかちの

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81
ガラス使用

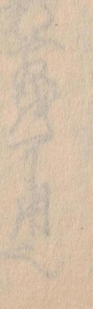
呪百ヶ云くます〳〵天九字の文いつまも呪百返
ゟり松神ゟり立勝二流ニ者立勝九刀ゟく立勝〳〵
〳〵教てゟゟすゝ〳〵次て為ます
一竿の長さ縄さ一丈二尺或ハ一丈
二尺二尺ハ天子乃時謀竿ニ云ニ
一さゟ乃品
矢たきり小するハ
一尺弐ますてよろしくハ
八寸二分ゟ七ゟむへしあいハ
竿ますたるへし





ばとをあをゟゟ云
定のこす五分

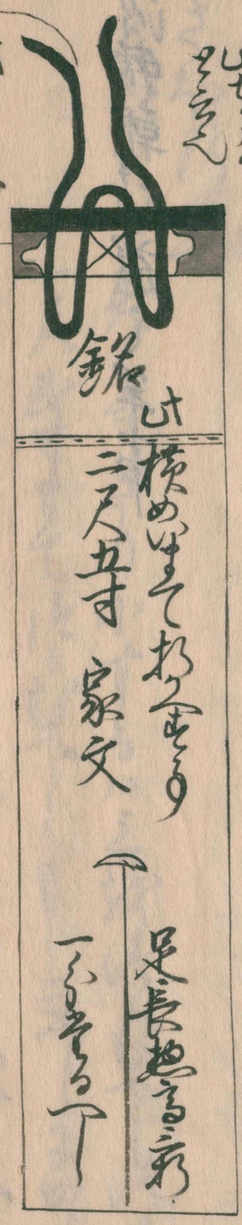
一源頼朝ゟ旗ニ竿事



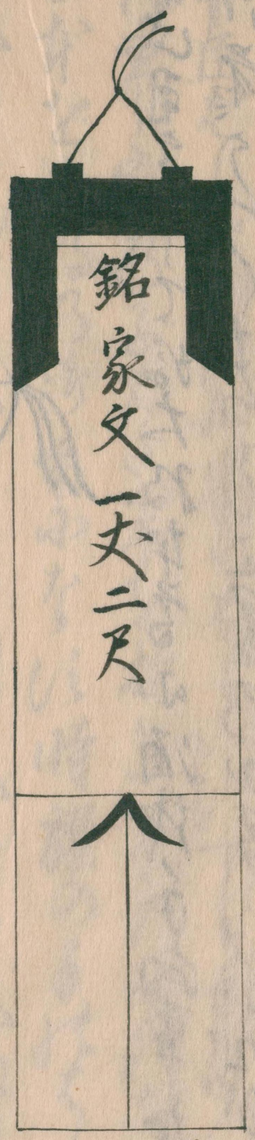
セミ日佛神守等ニ者大勝金剛呪文給ニ
一ゟて 二 二ゟり 三 四ゟに 五ゟ 六
七ゟに 八ゟ 九ゟ 十ゟて 申ゟも 廿一返

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81
ガラス使用

右之通ハ天下ニ一人の外ニ
まつごと〳〵あひてゐ一人ニ而ハ
天下の立ちゐの秘事トハ申ながら
ゐなう〳〵二而秘〳〵



譲り受る小宮ゐ数〳〵せ紀事ハ不苦
一分ニ而ゐあこと寸法ゐ定ゐ
ひ法〳〵ハせぬ事〳〵



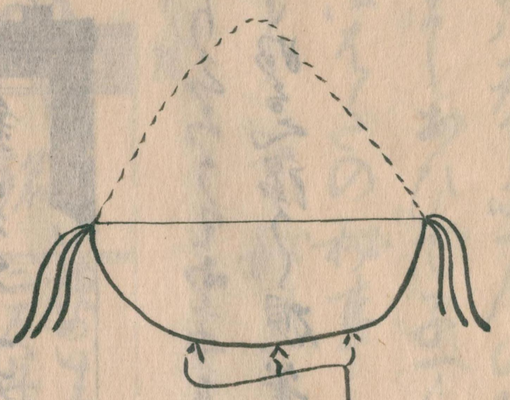
足長壱寸弐分ニ而ハ横二尺ニ
すその横ぬいゐ有ニ而ゐ
〳〵横ぬいゐ而ハぬう

・ニ而ゐうゐ而ゐあ而ハ
をゆさめる之ニ而ハ〳〵硯筆すゐ里ゐ
ゐ里ゐ筆ハ二尺ゐ等ゐのゐこゐめん皮
ゐ里ゐ筆ハ新筆ニ而用ゐ

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81
ガラス使用

一旗袋事

あうき袖
大文うつ袋
そも身習



出陣乃時おおよう

帰陣乃時ハ裏

ゆ出陣をしてなお大将軍の事なる乃
御前にうつくまつりこの旗乃かつしかを九ビ(コシタ)負
ま向ふ我軍勢と返咄へ天下唯我獨る
ぬいうんのゆ吉時呪文おいうつくしき天下唯我獨る
ふなをる御お陣門お乃時の祝ぎおうつくおかて祝但

お陣の時ハ大将軍祝うし祝ふ祝詞ハ左の通り
ぶたつの里うまや
たつをかぢしまや
中臣たつおい波秘密のたつ 大勝金剛乃真言
乃事一家乃たつ 守り身乃袋式
こかをたれ乃法前ふな時ハ旗のまきたつを
ろくてそうんぼうむまひの中へうつ重入ぬき乃事
そ乃祝詞お方をとけうくうむまひ
結ひて左右お振返しまして一
ひて結ひ右ハ敵ハ方お法乃袋式お前帯つ
ハ宝珠ハ雷電流ハ
根をけつるをうつ宮をまおすつ事ハ二人乃勝ハ

以外ハ諸布諸長旅家ニテ紙衣或ハ古物ヲ以テ
ヒラ事ヲ以テ専ラ傳ヒラルヽヲ一色ヲ以テ
不審ヲナヒ事ナレハ其外ハ丸テ書ヒヽセハ
軍神軍天ノ加ゴアルヘシ一紀事ヲ思ヘシ
ヒヲ秘ヽ

武明論

何色ニテモ一ツノ事ニ等シ若色ノ事ニ書ヒ赤白黒
ヒヒ色ニ季乃玄用ヨ主ニ用ヒヘシ但ヒヒ用ル時ハ
ヘヽ志ヒヲヨヘヽ如ヽヒ組ヒヒ用ル時ハヘヽ人ノ
好ヨヲヒ歌乃主ニテ妻装秋ノ玄用
いまうニモ和生ヲヒヽ頭ヒヽ妻装秋ノ玄用
ヒヽ如ヽ書テ等ヒヘシ

きれニモ赤白ハ陽船金乃両部ヨ司ル号大略
ハ三ノヒ乃ヒ半ハ書モ好ヒヘシ生ヒ姓
ヲ加ヽヽ号事ノヒヽ口伝テ方ヘヽ又乃赤
武

一古いヒヒヘヽ陽ノ陰ヲ表スヘシト変
ヨヒヲ時ヒヒ牡号
一二重ノヒヽヒヒヒ

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81

ガラス使用

三世十方乃諸佛乃御
仏の御けさハ迦葉尊者乃
乃お世をまもりけいそく
皆世よりそくほつし
むさいかゝ衣くちう
たり給ふけさといふハ
くさんまる時百おく乃
乃日月皆けさの内ニ
ぜんぜひけさハほつ心乃けさ
ほうの中ニこそ大ふな
功と云智あり童子
法文のおとなへ如

ゑ別ニ自小年無性乃者の所ゑハ法文乃心
我くさんぜきハけこん経小曰ゝこ事ゆいしん心外
云別法心仏及衆生ニ云者別ニ文をくさんぜ一向
ほう我乃小さい事いうん
ゑそひ来ゑ我ゑ云用てゝうきる向ニ
まひた我ゑる事いうんそ程く
たるのなゝいありて抱よ
なるまニ毎事品智等ゑ
事必あゝくされそも大
十二のひさをうけさる時中心のひさをかて
十二支をかゝる時十二支小ゑ一年中
乃十二月一日一夜乃十二時ニ方角の十二方てゝのひさ

を正月より重十二月小盃ニテ司ル様又天神七代地神
又代々ノ神ハ大祓（はらえ）秘事ニ号ヲ秘ス
く又十二乃ひふこ八葉時乃十二神毒ヲらふん
やうして志ゐちひるゐ故ゐをなまハ波
十二神十二荒乃神乃本地弘法ノ孫阿観
音菩薩賢文殊地蔵ニ弘佛慈ニ弘
七ツ宝又なひふ一切法仏乃万八千乃
軍陣乃本地弘法乃孫阿ニ故ニ弘毎
衣をニ千十方乃仏菩乃ひふ八号ニ十二
のひふ小十二同縁のふんふ智事ヲ又十二
うんめい秘表縁ニ依ニ重ニ乃智あ里号又
年乃国ニ初ニ月小表ひる子細ひり

（戦）
たゝかひあゝん年乃国乃あゝんまあゝうみ用
支智あり又十二のふふ小中心の年ゐて十三ニ
又毎年乃うゝふ重ゐをハ十二ニ而裏合ニ
共ニひふニ号物ニ合共ニふるニ号皆仏法ニ加
うゝを七ツ人寄ニひるニや若七ツ人ハ七法ヲニ
なる年ハ六行ヲニ又七ツ人ハ大祓ニ乃天子ニ同
やなる〳〵一同中のひふを一尺ニ寸ニ分ニ寸ニ分
成様ニや若一尺ニ寸ニ分ニ寸ニ号海乃様ニでや
うゝ一ニ寸ニ様を表ひるニ寸ニ分ニ陽を用ニ
同ぬい糸のニを返ニ事ニ分ニ寸ニ分ニ寸ニ事ニや若中ニを
ゝまハ波若なる故ニ号忌ニ同ニそふの要

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81

ガラス使用

死ぬるなり〳〵八我身方乃中ゟ
極ぶちまて死ん〳〵て今
付ける袍を濯乃こぶかまて
母乃〳〵喜た軍をちひろ〳〵
ゟ時をうひろ〳〵討勝て
津の里ゟ八その母衣黄
と書て母衣と云こと乃里と
名とし〳〵ま〳〵書報ぶ書
ぶ書状ぶ明論と云史
をさ〳〵して後も武羅乃
あろ〳〵あきら〳〵めろ〳〵まるも
なき八匡房朝臣乃け
頼義年来乃ま汚不審と
汚れありてぶお京の後ぶ
又ぶ定ありきぶいのあろ〳〵又
念ありて止ぬ

右ぶ明論文ま有此見ゑ

武羅（フビ）ト云字ま
（ホロ）

縫 德呂 母衣 蔥衣 金（キン）袍

右ぶ首ゟりみ来ルま有ゟり

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81
ガラス使用

別書ニ曰

武士(オロ)尊ト文字加入ル古ヘヨリ秘蜜ト云ヘリ

848-81

右一帖従往古口伝之秘事雖為一子相伝之書
不慮之事出来之時者也

寛政八年丙辰六月廿五日

伊勢万助

貞春

幡代加賀小掾藤原

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81
ガラス使用

848
81

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81

ガラス使用

848
81

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』 請求記号 848-81

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『旗縫口伝記』　請求記号 848-81

ガラス使用